

## WCCM2014のご案内(再通知)

吉村 忍 JACM 会長 (東京大学)

11<sup>th</sup> World Congress on Computational Mechanics (WCCM XI), 5<sup>th</sup> European Conference on Computational Mechanics (ECCM V) and 6<sup>th</sup> European Conference on Computational Fluid Dynamics (ECFD VI) が2014年7月20日(日)~25日(土)にバルセロナ (Palau de Congressos de Catalunya, Barcelona) で開催されます。前回、第10回のWCCMは2012年にブラジル・サンパウロ市で開催されています。

詳細は会議の詳細はWEBページ:

<http://www.wccm-eccm-ecfd2014.org/>

に掲載されております。JACM総会ならびに2014 JACM Awards授賞式をWCCM2014期間中に開催致します。JACM会員の皆様におかれては本会議に奮ってご参加の程お願いいたします。

## 2013年 JACM 総会報告

吉村 忍 JACM 会長 (東京大学), 岡田 裕 JACM 事務局長 (東京理科大学)

APCOM2013 (5<sup>th</sup> Asia Pacific Congress on Computational Mechanics) の3日目、2013年12月13日(金)の昼休みの時間帯に、2013年JACM総会が開催されました。出席者総数は36名でした。本報告の最後に出席者リストを添付致します。

JACM 総会は、毎年、IACM 傘下の計算力学国際会議である WCCM や APCOM, ECCOMAS, USNCCM に合わせて開催されています。「総会」と言っても、計算力学関係の国際会議に参加している JACM メンバーが昼食時に会場近辺のレストランに集い、会議の様子や最新研究動向に関する情報交換の他、現地の文化・レストラン情報などについて会話を楽しむことも目的の一つです。シンガポールで開催された APCOM2013 では大変残念なことに、会場周辺に適切なレストランを見つけることができず、実行委員長の G.R. Liu 先生にお願いして、セッションルームの一つ

【Room K (Club)】を使わせていただきました。前回、ブラジル・サンパウロのときと同様、空腹を我慢しながらの総会でした。



写真1 総会会場全景と JACM の活動報告をされる吉村 JACM 会長

12 時半を過ぎ、大方のメンバーが集めたところで、岡田の司会のもと、JACM 総会の議事を開始しました。吉村会長(写真1)から挨拶、総会参加へのお礼と JACM の近況報告があり、その後、総会のメインイベントである 2013 年度 JACM Awards の授賞式が行われました。2013 年度の受賞者は JACM Computational Mechanics Award が肖鋒・東工大准教授, Tayfun E. Tezduyar・ライス大教授, 堀宗朗・東大教授の3名, The JACM Fellows Award が秋葉博・アライドエンジニアリング社長, 塩谷隆二・東洋大教授, 古川知成・バージニア工科大教授の3名, JACM Award for Young Investigator in Computational Mechanics が奥村大・名古屋大准教授, 松原仁・琉球大助教, 米澤宏一・大阪大助教の3名でした。Young Investigator Award, Fellows Award そして, Award for Computational Mechanics の順に、吉村会長から受賞者の方々に賞状が授与されました(写真2, 3)。



写真2 吉村会長から松原仁・琉球大助教への The JACM Young Investigator Award の授与

写真3 吉村会長から塩谷隆二・東洋大教授への The JACM Fellows Award の授与

なお、当日、肖鋒准教授と Tezduyar 教授はどうしても都合が付かないということでご欠席でした。お二の代理として、滝沢研二・早大准教授が授賞式に出席され、吉村会長

から賞状が授与されました。賞状の授与の後、受賞者を代表して、堀宗朗教授と秋葉博氏から喜びのお言葉を頂きました（写真4, 5）。



写真4

JACM Computational Mechanics Award 受賞の挨拶をされる堀宗朗・東大教授

写真5

JACM Fellows Award 受賞の挨拶をされる秋葉博氏

引き続き、吉村会長から昨年の総会以降の JACM の活動状況について、資料に基づき報告がありました。会員数の状況、メルマガの件、運営委員改選の件、会長選挙と新役員体制、協力講演会、IACM Expressions, WCCM2012 Plenary Lecture や Semi-Plenary Lecture や IACM Award の推薦などに関する件、共催・協賛イベントに関する件について報告がありました（当日の配布資料を添付します）。中でも、JACM, 日本計算工学会, 東北大学災害科学国際研究所と共催による COMPSAFE2014 (1st International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems1) の開催 (2014年4月13日~16日, 仙台) は大変大きなイベントです。これは、JACM が中心となって開催される、はじめての APACM Thematic Conference IACM Special Interest Conference です。また、会員数は着実に増えていることについても説明がありました。

引き続き、JACM 活動全般に関する議論が行われ、矢川元基 IACM 会長から、JACM 総会の在り方などについてご意見がありました。JACM 総会では何を決めているのか？記録の残し方などについてご意見がありました。今後の JACM 活動に生かされることと思います（写真6）。



写真6 発言される矢川元基・IACM 会長と会場の様子

次回、2014年度の総会は、WCCM 11 がスペイン・バルセロナで2014年7月20日から25日にかけて開催されますので、それに併せて行われる予定です。WCCM 11 のHP(<http://www.wccm-eccm-ecfd2014.org/frontal/default.asp>)。

JACM 総会での配布資料の内容：

1. 会員数 297名 (2013.12.7 現在)
2. メールアドレス/URL (変更なし)  
事務局：[jacm-jim@save.sys.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:jacm-jim@save.sys.t.u-tokyo.ac.jp)  
入会申込用アドレス：  
[membership\\_jacm@sim.gsic.titech.ac.jp](mailto:membership_jacm@sim.gsic.titech.ac.jp)  
JACM ホームページ：  
<http://www.sim.gsic.titech.ac.jp/jacm/>  
等.
3. JACM メルマガ  
No.1~No.22 発行済(過去1年間に No.18~22 を発行)  
内容のより一層の充実を図るとともに、今後も2ヶ月に1号のペースで発行予定
4. 2013年 JACM Award 受賞者決定
5. 運営委員  
26学協会が運営委員を出している。運営委員任期は2015年3月31日まで。
6. 役員  
会長：吉村忍(東京大学)、副会長：青木尊之(東京工業大学)、西脇眞二(京都大学)、事務局長：岡田裕(東京理科大学) 役員任期は2015年3月31日まで。
7. 共催講演会
  - (1) COMPSAFE2014, Sendai, 13-16 April, 2014 (アブストラクト締切 20 Dec., 2013)
    - ✓ 日本計算工学会, 東北大学災害科学国際研究所と共催
    - ✓ はじめての APACM Thematic Conference IACM Special Interest Conference
8. 協力講演会&JACM 関連 OS
  - (1) ECCOMAS2012, Vienna, Austria, 10-14 Sep, 2012
    1. Advances in Computational Methods for Gas-Liquid Two-phase Flow (B. R. Shin, T. Kajishima)
  - (2) International Computational Mechanics Symposium (ICMS) 2012, Kobe, 9-11 Nov., 2012  
基調講演者推薦：J. S. Chen (UCLA), R. Ohayon (CNAM)
  - (3) A Conference Celebrating the 70<sup>th</sup> Birthday of Thomas J. R. Hughes with A Special Truck 17<sup>th</sup> International Conference on Finite Elements in Flow Problems, San Diego, USA, 24-28 Feb., 2013
  - (4) USNCCM12, Raleigh, North Carolina, 22-25 July, 2013
    1. Recent Advances in Computational Fracture Mechanics (H. Okada, X. Gao, T. Nagashima)
  - (5) APCOM&ISCM2013, Singapore, 10-13 December, 2013
    1. Numerical Modeling of Granular and Multiphase Flows (M. Sakai, S. Watano)
    2. Recent trends on Structural Optimization (S. Min, S. Nishiwaki)
    3. Advances in Computational Modeling of Inelastic Materials (Y. Tadano)
    4. Computational Methods for Building and Seismic Engineering (M. Ohsaki, T. Miyamura, D. Isobe)
    5. Fluid-Structure Interaction (K. Takizawa, S. Ushijima)

6. Meshfree methods (S. Hagihara, Y. T. Gu, S. Koshizuka, Y. Sakai)
  7. Recent Advances in Computational and Experimental Fracture Mechanics (T. Ikeda, H. Okada)
  8. Cardiovascular Mechanics and Applications in Cardiovascular Diseases (M. Oshima)
  9. Frontier in Multi-physics CFD Simulation (M. Yamamoto, N. Oshima, M. Tanahashi)
  10. Numerical Methods for Damage and Fracture in Composites (T. Nagashim)
  11. Uncertainty Modeling for Composite Materials and Biological Tissues (N. Takano, T. Matsuda, D. Tawara)
  12. Phase-Field Modeling and Simulation for Microstructural Evolution (T. Takaki)
  13. Advanced Boundary Element Methods and Applications (T. Matsumoto, N. Nishimura)
  14. Advanced Simulation and Numerical Methods for Earthquake Problems (M. Hori)
  15. Domain Decomposition and Large Scale Computation (M. Ogino, A. Takei, S. Sugimoto)
- (6) WCCM XI –ECCM V- ECFD VI, Barcelona, Spain, 20-25 July, 2014
1. Advanced in Shape and Topology Optimization of Structures and Materials (M. Wang, Z. Luo, T. Yamada)
  2. High-Performance Computing for Structural Mechanics and Earthquake / Tsunami Engineering (S. Yoshimura, M. Hori, M. Ohsaki)
  3. Recent Advances in Computational Fracture Mechanics (H. Okada, T. Ikeda, C. B. Hwu, X. S. Gao, T. Nagashima)
  4. Advances in Accurate and Robust Numerical Methods for Computational Fluid Dynamics (R. Abgrall, F. Xiao, K. Hillewaert)
- ・・・等

## 9. IACM expression

No.32 (Dec. 2012) : K. Takizawa, T.E. Tezduyar 寄稿

COMPSAFE2014 アナウンス記事

2012 JACM 総会 (サンパウロ) と 2012 JACM 賞受賞者記事

ICMS2012 (神戸, 9-11 Nov., 2012) 報告

### 1 0. 各種推薦

IACM GC メンバー推薦

(矢部孝, 宮崎則幸, 松本洋一郎, 萩原一郎, 青木尊之, 西脇慎二, 岡田裕, 肖鋒, 池田徹)

2013APACM Award 推薦,

WCCM 2014 PL/SPL 講演候補者推薦, JACM メンバーの SPL : 吉村忍 (東京大学)

### 1 1. 共催イベント

- (1) The 2<sup>nd</sup> International Symposium on Large-scale Computational Science and Engineering, Nov. 8, 2012,

日本学術会議

- (2) 日本学術会議「第 2 回計算力学シンポジウム」2012 年 12 月 10 日, 日本学術会議, 若手招待研究者推薦: 今井陽介助教 (東北大学)
- (3) 日本学術会議「第 3 回計算力学シンポジウム」2013 年 12 月 3 日, 日本学術会議, 若手招待講演者推薦: 高橋昭如准教授 (東京理科大学)

### 1 2. 協賛イベント

- (1) 2013 年度 JSME 計算力学技術者認定事業. 上級アナリスト試験: 2012 年 9 月 15, 16 日, 東京. 1, 2 級試験: 2013 年 12 月 21 日(土), 東京, 名古屋, 大阪, 金沢, 福岡
- (2) 第 8 回日中韓構造及び機械システムの最適化シンポジウム(CJK-OSM8), 韓国慶州, 25-29 May, 2014

### 1 3. 検討課題

- ✓ JACM メルマガの記事の充実
- ✓ JACM 関係活動のより一層の海外発信
- ✓ 英文 HP の充実 (JACM 活動や国内関連活動の海外発信)
- ✓ IACM expression への JACM メンバーからの寄稿の強化

### 1 4. その他

- (1) Prof. J. Tinsley Oden (テキサス大学オースチン校 ICES 研究所長) が「固体力学・流体力学分野での計算力学の創設と発展に貢献」2013 年本田賞を受賞・授賞式 (11 月 18 日), お祝い会 (11 月 19 日) 詳細は JACM メルマガ最新号 No.22 を参照

2013 年度 JACM 総会出席者リスト (敬称略, あいうえお順): 秋葉 博 (アライドエンジニアリング), 石田 祥子 (明治大学), 池田 徹 (鹿児島大学), 江戸 孝昭 (琉球大学), 大島 まり (東京大学), 大崎 純 (広島大学), 岡田 裕 (東京理科大), 萩野 正雄 (名古屋大学), 奥村 大 (名古屋大学), 金山 寛 (名古屋大学), 佐藤 皓明 (東京理科大学), 塩谷 隆二 (東洋大学), 杉本 振一郎 (諏訪東京理科大学), 高橋 昭如 (東京理科大学), 滝沢 研二 (早稲田大学), 武居 周 (苫小牧高専), 只野 裕一 (佐賀大学), 田村 善昭 (東洋大学), 中林 靖 (東洋大学), 長岡 慎介 (東洋大学), 長嶋 利夫 (上智大学), 西脇 眞二 (京都大学), 萩原 世也 (佐賀大学), 北条 (名古屋大学), 堀 宗朗 (東京大学), 増田 正人 (東洋大学), 松原 仁 (琉球大学), 松本 敏郎 (名古屋大学), 宮崎 則幸 (京都大学/九州大学), 矢川 元基 (東洋大学), 山田 崇恭 (京都大学), 山田 知典 (東京大学), 山本 誠 (東京理科大学), 遊佐 泰紀 (東京大学), 吉村 忍 (東京大学), 米澤 宏一 (大阪大学)

※ご所属は当日作成の出席者名簿の通りです。

# 2013 年 APACM General Council 会議報告)

吉村 忍 JACM 会長 (東京大学)

2013 年 12 月 12 日(木) 15:00-16:00 に APACM-ISCM2013 講演会場の一室を使って、APACM General Council 会議が開催された。APACM (Asian-Pacific Association for Computational Mechanics) (アジア太平洋計算力学連合) には、国際計算力学連合に所属する IACM Affiliated Society のうち、アジア-オーストラリア地域の日本、中国、オーストラリア、タイ、シンガポール、インド、香港、韓国、台湾、マレーシア、インドネシア、ベトナムの 12 の国・地域の 14 の団体が参加している。APACM の活動の詳細は、最近新しく解説されたホームページ <http://apacm-association.org/> を参照されたい。APACM の最大のイベントは、3 年に一度開催される APCOM 会議であるが、APACM に関する様々な事項が APCOM の折に開催される APACM Executive Council 会議及び General Council 会議で議論されている。筆者は、General Council メンバーとして、GC 会議に参加したので、そこでの主な議論を紹介したい。

- (1) APACM 会長であり、APCOM-ISCM2013 議長である G.R. Liu 教授より、会議が成功裏に進行中であり、GC 会議参加者に謝意が述べられた。(2) A
- (2) PACM の Home Page が新しくオープンした。
- (3) 2013 年 APACM Awards の選考プロセスの紹介があった。3 年に一度表彰される APACM Awards については、12 月 12 日夕刻の Banquet の折に表彰式があった。JACM 関係者からは次の方々を選ばれた。  
APACM Valliappan Medal : 宮崎則幸京都大学名誉教授 (前 JACM 会長)  
APACM Computational Mechanics Award : 吉村忍東京大学教授 (JACM 会長)  
APACM Young Investigators Award : 滝沢研二早稲田大学准教授, 高木知弘京都工芸繊維大学准教授, 高橋昭如東京理科大学准教授  
APACM Senior Scientist Award : 萩原一郎明治大学教授 (東京工業大学名誉教授), 宮崎則幸京都大学名誉教授
- (4) APACM へのベトナムの団体 Vietnam National Association for Computational Mechanics (VACM) の参加が新たに承認された。

- (5) IACM Expression への APACM 地域からの記事投稿依頼がなされた。
- (6) APACM 会長の交代  
APACM-ISCM2013 会議の議長を務めたシンシナッチ大学 G. R. Liu 教授から、APCOM-WCCM2016 会議議長を務める韓国 KAIST の S. K. Youn 教授に、APACM 会長が交代した。
- (7) APACM EC メンバーの一部交代  
これまで長く中国の代表を務めてきた北京大学の M. W. Yuan 教授 (IACM 副会長) から浙江大学の Yao Zheng 教授に交代した。
- (8) APACM GC メンバーの更新  
これまで GC メンバーを務めてきた何人かが Honorary Member になることとなり、GC メンバーの更新を行うことがアナウンスされた。JACM 関係者としては、矢部孝東京工業大学教授 (初代 JACM 会長) と宮崎則幸京都大学名誉教授が Honorary Member となった。
- (9) APACM constitution の改訂の提案が出され、了承された。
- (10) APCOM2019 開催地の公募  
APCOM2016 (第 6 回 APCOM) は、2016 年 7 月 24-29 日に第 12 回 WCCM と合同で、韓国のソウルで開催されることが決まっている。その次の APCOM2019 について、開催地の公募がアナウンスされた。これについては、その後、2014 年 3 月に APACM 内に設置された APCOM 開催地選考委員会において審議が行われ、2019 年 12 月に台湾・台北で開催されることが決定された。
- (11) COMPSAFE2014 についてのアナウンス  
COMPSAFE2014 は APACM としてはじめての APACM Thematic Conference であり、APACM EC メンバーより、本開催に尽力している JACM と JSCES に対して謝意が述べられた。

2016年、2019年のAPCOM会議については、JACMとしても積極的に支援していきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

編集責任者

西脇 眞二 (京都大学)

山田 崇恭 (京都大学)